



第 205 号 令和 7 年 12 月 1 日



第19回 富士山百景写真コンテスト 富士山写真部門入選
「獲物を追って」 安田 紀年雄さん撮影(エリア:長沢・中桁)

令和6年度 各会計決算を認定

特 集

議会による事業評価を実施…………… 2・3



SDGs 未来都市 富士市

議会による事業評価を実施

富士市議会では議会基本条例に基づく独自の取組として、9月定例会決算審査に合わせて前年度執行の事業の評価を行っています。今回は、全事業の中から6事業を選定し、評価においては、活発に意見交換がなされ、議論は大変白熱したものになりました。

評価結果は、10月10日に市長に提出しました。

一部、内容を要約しています。全文は左のQRコードを読み取り、ウェブサイトで御覧ください。



▲議長から市長に提出する様子

◆防犯まちづくり推進事業費

(街頭防犯カメラ設置事業及び
通学路防犯カメラ設置事業費補助金)



地域防犯活動の向上のため、小学校の通学路に防犯カメラを設置する町内会等に対し補助金を交付する。また、通学路防犯カメラを補完するため、通学路以外で防犯カメラが必要であると考えられる場所に、市が街頭防犯カメラを設置する。

事業の評価 ▶ C あまり評価できない

今後の方向性 ▶ 事業内容:口 改善し継続する
予算:1 増加する

両事業ともに設置見込み台数に届いていない。特に通学路防犯カメラ設置事業は、手続きの煩雑さや維持管理等の費用が対象外であることなどが申請をためらう原因となっている。設置に前向きな町内会が多い中で希望に応えられているとは言い難い。

終了予定である県の補助金制度の動向を注視しながら、住民が求める場所に通学路防犯カメラを設置できるよう、市独自の制度創設も検討を進めるべきである。また、街頭防犯カメラを予定箇所に設置できない場合は、速やかに代替設置場所を検討すべきである。また、防犯カメラの設置箇所の周知に努めてほしい。

◆遺家族等援護事業費



戦没者等の慰靈、遺族への援護等を目的として、市が管理する慰靈碑の維持及び管理、富士市遺族会活動費補助金の交付、一般財団法人慰靈の森運営費負担金の交付等の事業を行う。

事業の評価 ▶ B やや評価できる

今後の方向性 ▶ 事業内容:口 改善し継続する
予算:1 増加する

各地区が管理する慰靈碑、市が管理する慰靈碑とともに維持管理ができているが、遺族会等は高齢化による維持管理の担い手不足や、慰靈碑の経年劣化から安全性の確認が必要であるなど、管理の在り方について課題が顕在化している。

慰靈碑の点検及び安全対策については、市の管理、地区的管理のいずれにおいても早急に実施できるよう、必要な予算措置を図ること。また、遺族会や地区関係者等との協議を重ね、それぞれの思いを考慮しながら、各地区的実情に合った管理方法が確立できるよう、慰靈碑の集約化も含め検討を進めていくこと。

◆こども医療助成費



子供にかかる医療費を助成することにより、子供の健康の保持及び増進を図るため、入院費は無料、通院費は1回500円以下となるよう市で助成する。

事業の評価 ▶ B やや評価できる

今後の方向性 ▶ 事業内容:口 改善し継続する
予算:1 増加する

制度の拡大を進め、子供の健康の保持・増進とともに保護者の負担軽減につながったと評価できるが、通院費における500円の自己負担金が利用者、医療関係者双方の負担となっていることは課題である。

今年9月のアンケート調査により受給資格者のニーズを把握するとともに、低所得者世帯に対する自己負担金償還制度については、制度の充実に向けて検討すること。完全無償化については、他自治体の動向を注視しつつ、財政負担及び効果の検証を行うこと。また、全国一律の制度施行に向け、国・県への要望は継続して行うこと。

◆駐輪場維持管理事業費



市内のJR各駅周辺及び吉原中央駅バスターミナル南側にある計17か所の自転車駐車施設について、朝方の通勤・通学時に自転車等の整理及び施設内の清掃を行うなど、適切な整備及び維持管理を行う。

事業の評価 ▶ C あまり評価できない

今後の方向性 ▶ 事業内容:口 改善し継続する
予算:1 増加する

現状のニーズに対する成果及び費用対効果は十分評価できる一方で、サイクルツーリズム等の一時的な利用者への対応など課題も見られる。また運営費の負担割合等についてJRとの協議を進める必要があったと考えられる。

駐輪場自体の在り方を見直す時期に来ており、市民アンケート調査等で早急にニーズを把握する必要がある。今後、多様な利用形態に応じた対応が求められることから、実態調査等を基に柔軟な駐輪場整備を進めてほしい。また、JRに一定の費用負担を求められるよう、市として国に制度変更の要望活動を行うこと。

◆雨水浸透・貯留施設設置助成費



道路冠水及び浸水被害の軽減につなげることを目的として、住宅への雨水浸透ますや雨水貯留タンクの設置に対し助成金を助成する。

事業の評価 ▶ C あまり評価できない

今後の方向性 ▶ 事業内容:口 大幅に見直す
予算:2 維持する

浸水被害等の軽減につなげる重要な事業であるが、当初予定していた設置数には届いていない。市民への周知や、地域を限定して集中的に設置することへの理解を求めるなどの取組が不足しており、その効果は限定的であったと言わざるを得ない。

設置数を増やすためには、これまでの手挙げ方式により設置数を増やす方法には限界があると考える。補助制度の見直しや独自の指導方法を考案するなど、積極的に取り組んでいる自治体の成功事例を調査・研究し、大幅な設置増となるよう抜本的な制度の見直しを早急に検討することを求める。

◆パートタイム会計 年度任用職員

(生徒指導アドバイザー、
生徒指導サポート員及び
スクールソーシャルワーカー)



学校における諸課題の解決や、困難を抱える児童生徒に対する支援を包括的に行うため、専門的な知識を有する人材を配置する。

事業の評価 ▶ B やや評価できる

今後の方向性 ▶ 事業内容:口 改善し継続する
予算:1 増加する

限られた人員及び時間の中で対応していることは活動実績から見ても評価できるが、不登校児童生徒の増加に伴う相談件数の増加や相談内容の複雑化により、現在の人員では支援が必要な児童生徒への対応は十分であるとは言い難い。

支援を必要とする児童生徒の低年齢化や不登校児童生徒の不登校の要因が多様化していることから、各学校で対応に必要な人員等を検証し、学校規模やニーズに応じた職員の増員や、富士第二小学校の「ほっとルーム」のような校内教育支援センターの拡充など、学校内の環境整備のための予算措置が必要と考える。

9月定例会

会期内容

9月9日 本会議(開会)

◇特別委員会の中間報告・質疑 ◇議案1件(報告案)説明・質疑・討論・採決 ◇議案1件(契約案)説明・質疑・討論・採決 ◇議案18件(決算認定・単行案)説明・質疑・委員会付託 ◇発議議案1件説明・採決 ◇岳南排水路管理組合議会議員補欠選挙

11日 分科会

◆総務市民分科会 ◆産業教育分科会

12日 分科会

◆産業教育分科会

17日 分科会

◆福祉保健分科会 ◆建設消防分科会

18日 分科会

◆福祉保健分科会

22日 委員会

◆予算決算委員会 ◆議会運営委員会

25日 本会議

◇議案18件委員長報告・質疑・討論・採決
◇議案10件(補正予算案・条例案)説明・質疑・委員会付託
◇陳情1件委員会付託

29日 分科会・委員会

◆総務市民分科会・委員会 ◆産業教育分科会

30日 分科会・委員会

◆福祉保健分科会 ◆建設消防分科会・委員会

国への意見書の提出

市議会では、意見書を関係行政機関に提出することができます。9月定例会では、議員発議による下記1件の意見書を全会一致で可決し、内閣総理大臣等へ提出しました。

地方公共団体情報システムの標準化に関する意見書

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律及び地方公共団体情報システム標準化基本方針(基本方針)に基づき、本市はガバメント・クラウドへの標準化システム移行の取組を行っている。国においては、自治体への支援策として、構築経費について全額補助対象としているものの、運用経費については財政措置がなされる見込みはない。

国は運用経費について基本方針において、平成30年度比で少なくとも3割の削減を目指すとしているが、新たな回線接続契約や、ガバメント・クラウド運用管理補助者業務等が追加される等、運用経費の肥大化が予想される。本市では、標準化前と比較しておよそ2.6倍、毎年8億円の運用経費が増えると見込んでいます。

また、標準化への対応は、全国約1740の団体が一斉にシステムを切り替えることとなるためシステム事業者の技術者のリソース不足等も影響し、本市においても限られたリソースで移行作業等に対処できず、標準化の移行遅延という問題も発生している。移行遅延により、現行システムと標準準拠システムとのデータ連携の構築や運用、並びに延長利用を強いられる現行システムの老朽化対応など追加経費が発生し、過大な財政負担をしなければならない状況である。

さらに、標準化の移行遅延は、厚生労働省が進める医療情報プラットフォーム等、全国的なデータ連携基盤の取組などにも影響を及ぼすこととなり、国民にとっても課題が山積する事態が見込まれている。この問題は、デジタル庁と他の省庁との連携不足が原因と考えられる。

よって、国においては、地方公共団体情報システムの標準化を推進するに当たり、地方公共団体の状況を踏まえ、下記の事項を実施するよう強く要望する。

記

1. デジタル基盤改革支援補助金基準額の算定に当たり、所要経費の再調査を行い、不足する構築費を全額補助対象とし、速やかに通知すること。
2. 従前のシステムと比較して標準準拠システムへ移行したことにより増加する運用経費について、自治体間の不公平が生じないよう地方交付税措置ではなく、直接的な支援となる補助制度を設けること。
3. デジタル庁は、省庁間の調整を強力に実施し、統制の取れた施策を展開すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年9月9日

富士市議会

10月2日 委員会

◆予算決算委員会

3日 委員会

◆議会運営委員会

6日 本会議

◇議案10件、陳情1件委員長報告・質疑・討論・採決

◇議案1件(人事案)説明・採決

◇一般質問

7日 本会議

◇一般質問

8日 本会議・委員会

◇一般質問

◆議会運営委員会

9日 本会議

◇一般質問

10日 本会議(閉会)

◇一般質問 ◇発議議案1件説明・採決

◇特別委員の選任

岳南排水路管理組合議会議員(補欠)

佐藤 菊乃 議員

人事案件

1件の人事案件は、次のとおり同意されました。

▶人権擁護委員候補者 1人

お知らせ

8月15日付で一条義浩氏、10月10日付で市川真未氏が議員を辞職しました。

議案の審議結果

※太字は委員会付託議案です。

■全会一致で認定、可決、同意、承認した議案

報告 専決処分の承認

富士市病院事業会計補正予算(第2号)

決算 令和6年度 決算認定

富士市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定

富士市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定

富士市新富士駅南地区土地区画整理事業特別会計

歳入歳出決算認定

富士市第二東名IC周辺地区土地区画整理事業特別

会計歳入歳出決算認定

富士市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定

富士市森林財産特別会計歳入歳出決算認定

富士市鈴川財産区特別会計歳入歳出決算認定

富士市今井財産区特別会計歳入歳出決算認定

富士市大野新田財産区特別会計歳入歳出決算認定

富士市檜新田財産区特別会計歳入歳出決算認定

富士市田中新田財産区特別会計歳入歳出決算認定

富士市水道事業会計決算認定

富士市病院事業会計決算認定

条例 条例の改正

富士市の議会の議員及び長の選挙における選挙

運動の公費負担に関する条例

富士市中野台下水処理施設条例

富士市水道事業給水条例

富士市下水道条例

人事

人権擁護委員候補者の推薦

契約 契約の締結

高機能消防指令センター全部更新事業

その他 剰余金処分

富士市水道事業会計剰余金処分

発議

地方公共団体情報システムの標準化に関する意見書

(仮称)富士市の救急医療を守り抜く条例検討特別委員会の設置

■賛成多数により認定、可決した議案

決算 令和6年度 決算認定

富士市一般会計歳入歳出決算認定(賛成29、反対1)

富士市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定(賛成29、反対1)

富士市公共下水道事業会計決算認定(賛成29、反対1)

その他 剰余金処分

富士市公共下水道事業会計剰余金処分(賛成29、反対1)

予算 令和7年度 補正予算

富士市一般会計補正予算(第3号)

富士市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

富士市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)

富士市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

富士市公共下水道事業会計補正予算(第1号)

富士市病院事業会計補正予算(第3号)



議案に対する各議員の賛否は富士市議会ウェブサイトを御覧ください。

9月定例会常任委員会の審査等

予算決算委員会

(決算認定16件、単行案2件)

令和6年度 各会計決算を認定

【一般会計歳入歳出決算】

歳入 1131億5700万7949円
歳出 1094億4258万4967円

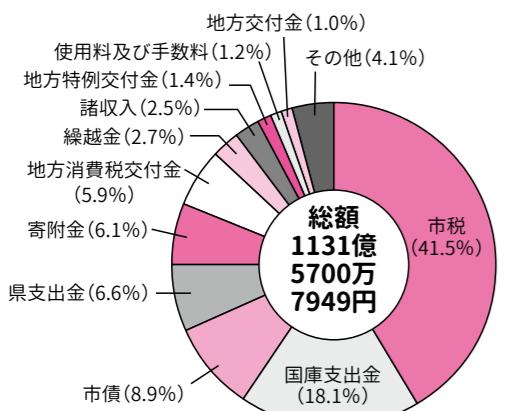
【特別会計】(国民健康保険事業ほか11会計)

歳入 543億 678万 604円
歳出 529億9682万2474円

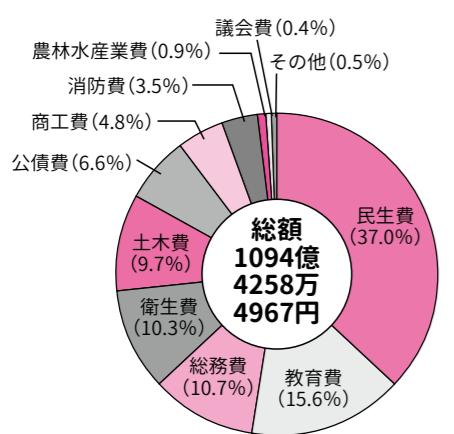
【企業会計】

水道事業	事業収益	44億 451万8061円
	事業費用	34億3367万2759円
公共下水道事業	事業収益	61億4743万5983円
	事業費用	50億9672万2851円
病院事業	事業収益	158億7118万6627円
	事業費用	166億6853万3663円

一般会計・歳入款別内訳



一般会計・歳出款別内訳



【委員長】小池智明 【副委員長】小池義治

【委員】委員長、副委員長を除く全議員

一般会計に関する質疑

総務市民分科会

●防災アプリ「防災ふじ」への避難行動要支援者の登録者数を増やす方策の検討を

要望 個別避難計画作成機能や防災ヘルプ機能といった避難行動要支援者の防災に役立つ機能を搭載した防災アプリ「防災ふじ」を運用していますが、避難行動要支援者の登録者数が642人と少ないので、福祉総務課と連携して登録者数を増やす方策を検討してください。

福祉保健分科会

●避難行動要支援者名簿の同意率向上の取組は

問 避難行動要支援者名簿の同意率は、令和6年度末で43.3%のことですが、災害時に本当に支援が必要な人を取り残さないためにも、さらなる同意率の向上及び個別避難計画の作成が必要と考えますが、どのような取組を行っていますか。

答 これまで福祉専門職や地域の方々の協力を仰ぎ、同意率の向上に努めてきました。また、対象者にはチラシ等を配付し制度説明をするなどの取組も行っています。これらの取組を続けるほか、今後は新たにモデル地区を設定し、避難行動要支援者名簿の使い方や日頃の見守り活動への活用方法を検討するとともに、個別避難計画の必要性も理解されるよう努めています。

産業教育分科会

●富士ヒノキの販売に特化した推進組織を設ける考えは

問 総合計画の施策評価指標であるフジヒノキメイドの出荷量では、前年度より増えたものの、令和4年度からは200立方メートルほど少なく、あまり成果が見られません。林政課内に富士ヒノキの販売に特化した推進組織を設ける考えはありますか。

答 富士ヒノキの販路開拓に向け、令和6年度から富士ヒノキ販路拡大ロードマップの策定を進めている中で、民間事業者を中心に営業活動に取り組んでいますが、マンパワーが足りないと感じています。スポーツに対してはスポーツコミュニケーションがあるように、富士ヒノキの用途開発や市場開拓を重点的に担う推進組織の設置が必要だと考えています。

建設消防分科会

●自転車が安全に走行できる自転車通行空間ネットワーク計画の策定を

要望 自転車通行空間ネットワーク計画の策定に向けて、対象路線や整備方法を選定していることですが、対象路線の中には交通量が多い道路もあるため、自転車が安全に走行できる整備方法の選定に努めてください。また、自転車通学の現状をしっかりと把握し、通学路において安全を確保できるよう配慮しながら計画策定を進めてください。

特別会計・企業会計に関する質疑

福祉保健分科会

●健康づくりディトレーニングの実施による成果は

問 令和6年度から新たに健康づくりディトレーニングを実施したことにより、どのような成果が得られましたか。

答 これまで通所介護相当サービスに利用が偏っていたことから、より個人の状態に合ったサービスを受けられるよう見直し、令和6年度から健康づくりディトレーニングを創設しました。これにより事業費は前年度より約2700万円減少したものの、利用できる事業所数が12事業所と相当サービスに比べて少なかつることもあり、1か月当たりの利用者数は約70人と、当初想定した400人に及ばなかったことから、今後はさらなる周知を図っていきたいと考えています。

●救急専門医を1名配置したことによる成果は

問 救急外来に救急専門医を1名配置し、よりよい医療の提供に努めたとのことですですが、具体的にどのような成果が得られましたか。

答 救急専門医の配置は、本市の喫緊の課題である630問題の解消に資するだけでなく、これまで常勤医師が当番制で対応していた救急外来を救急専門医が担当することにより常勤医師の負担軽減につながり、1人当たりの時間外労働時間数が前年度より月4時間減少しました。

建設消防分科会

●公共下水道事業において、不明水の原因や損失額、改善にかかる費用は

問 公共下水道事業において、有収率が前年度に比べ3.4ポイント減の72.9%であり、処理水全体のうち不明水が3分の1を占めているとのことですが、その原因や損失額、改善にかかる費用を把握していますか。

答 不明水の原因是、汚水管の老朽化により雨水が流入していることなどであり、損失額は、不明水約700万立方メートルに対し、1立方メートル当たりの汚水処理費用10円を掛け合わせた約7000万円と見込んでいます。不明水の調査や修繕などに係る費用は、損失額を大きく上回る見込みですが、汚水管の破損による事故や大規模災害への備えとして、施設の老朽化対策と併せて不明水の対策を行う方針です。

反対討論

認第1号では、福祉分野では人の配置が足りておらず、会計年度任用職員で対応していることは問題だと感じる。生活保護に関わる業務では年度当初から過重労働となっており、市民に笑顔で向き合える体制づくりが必要と考える。認第4号では、介護保険料は令和6年度に増額改定されたが、結果的に介護給付費準備基金として1億7865万円余を積み立て、令和6年度末の基金残高は16億4982万円余となっている。年金が年々目減りしている中、保険料の引き上げは慎重にすべきと考える。認第15号及び議第99号では、ウォーターPPPアドバイザリー業務委託を締結し、事業化に向けて準備を進めていることだが、ウォーターPPPには問題点があり、もっと慎重に議論すべきである。

よって、認第1号、認第4号、認第15号及び議第99号については反対である。

予算決算委員会及び各分科会において、以上の質疑、答弁、要望及び討論を行った後、全ての付託議案を認定・可決し、予算決算委員会として、以下の事項を当局に要望しました。

【一般会計】

●マンション管理適正化推進事業について、分譲マンション76棟における実態を調査した結果、管理組合の組織率が約66%、修繕費の積立の実施率が25%にとどまっていることから、各施設で管理組合を設置し、長期修繕計画の策定や長期的な修繕費の積立てを行うことなど、管理適正化に向け、個人の権利を侵害しない範囲で慎重にサポートしていくこと。



9月定例会常任委員会の審査等

予算決算委員会

(補正予算6件)

【委員長】小池智明 【副委員長】小池義治

【委員】委員長、副委員長を除く全議員

総務市民分科会

●新富士駅南口周辺のアーバンデザインに関し、利用者や若い世代の意見を聞く予定は

問 新富士駅南口周辺都市機能形成基本計画策定において、素案作成のための懇話会を開催するとのことです。この計画については、子供の送迎等で新富士駅を利用している方々から送迎での利便性が低下するのではないかと不安の声が上がっています。実際に利用している方や若い世代の市民が意見を伝えることができる場はあるのですか。

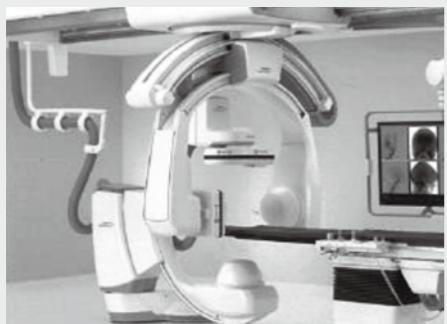
答 市としては、学生等の若者世代をはじめとした幅広い意見を吸い上げて検討材料としていきたいと考えています。懇話会は令和8年9月までの間に5回公開で開催する見込みです。その際に多くの意見を寄せていただきたいと考えています。また、フィールドワークなどの機会を通じて若者世代の意見を伺っていく予定です。

福祉保健分科会

●計画を前倒して購入する血管撮影装置の採算性は

問 債務負担行為補正として、血管撮影装置更新事業2億1780万円を追加し、現在、中央病院で使用している装置2台のうち、平成26年6月に導入した装置1台が故障によりフル稼働できなかったため、計画を前倒して購入することですが、投資に対する採算性をどのように見込んでいますか。

答 本年1月から8月までの間にこの血管撮影装置を使って治療した件数は、脳神経外科144件、放射線画像診断科119件、合わせて263件で、約1億6600万円の収入を得ています。人件費や消耗品などの経費を差し引いた治療1件当たりの収益は約20万円であり、1年間で約6000万円の収益が見込めるため、数年で採算が取れるものと考えています。



▶血管撮影装置

産業教育分科会

●浸水被害等の災害を防ぐため、早急な対応を

問 農業用水・排水施設管理事業費を193万円余増額し、三新田排水機場真空ポンプの修繕を行うとのことですが、どのような経緯からですか。

答 地元の農業従事者から報告を受けて確認したところ、真空ポンプに経年劣化による不具合が生じていることが判明したため、緊急性が高いと判断し、今回計上したものです。

要望 近年は集中豪雨が多発しており、浸水被害などの災害を防ぐためにも排水施設は重要と考えるため、今後も早急に対応できる方法を検討してください。



▲三新田排水機場

建設消防分科会

●契約後の電気料や労務単価の高騰への対応は

問 クリーンセンターききょう運営管理事業費を1012万円増額し、電気料や労務単価等の高騰に対応することですが、包括的民間委託を行っている事業者との契約はどのようになっているのですか。

答 電気料や労務単価等は社会経済情勢により変動するため、想定が困難なことから、委託事業者との契約において、契約期間中に運営費が契約金額のプラス・マイナス5%を超えた分については、契約金額を変更できると定めており、今回はこの規定を適用し、増額補正するものです。

総務市民委員会

(条例1件、陳情1件)

【委員長】井出晴美 【副委員長】佐藤菊乃

【委員】川窪吉男、遠藤盛正、下田良秀、伊東美加、小池義治、新家大輔

当委員会に付託となった議案1件及び陳情1件については、当局の説明を受け、原案どおり可決しました。

建設消防委員会

(条例3件)

【委員長】佐野智昭 【副委員長】石川浩司

【委員】小池智明、鈴木幸司、山下いづみ、笠井 浩、市川真未、萩野基行

県内他自治体の条例改正の状況を把握していますか。また、この改正内容は全国の指定工事店に及ぼしますか。

答 県内の主要な自治体に確認したところ、ほぼ全ての自治体が標準下水道条例の改正に対応するとのことでした。また、本条例改正により、県内外にかかわらず全国の指定工事店による工事が可能になります。

陳情

砂山公園プールの存続に関する陳情

◇総務市民委員会にて審査◇

砂山公園プール（通称「富士マリンプール」）は夏場限定の施設だが、多くの子供たちにとって夏休みに水遊びができる貴重な施設であるとともに、様々な世代の利用者と交流ができるから、心身の健康増進に大きく寄与できる施設である。また、子供から大人まで多くの方が楽しむことができ、多くの市民が幸せを享受できる施設である。富士市民の憩いの場であり続けた富士マリンプールを、今後も末永く市民が利用できるよう、令和8年度以降も維持管理に必要な予算を計上し、存続させていくことを求める。

【審査結果】

現在、無作為抽出した市民2000人を対象に、富士マリンプールに関する市民意識調査を実施しているので、調査結果を踏まえ、少子化対策などの重要施策との整合性等も考慮しながら、来年4月までには施設の在り方についての方針を決定できるよう取り組んでいくとの当局説明に対し、富士マリンプールの在り方についての方針は、市民意識調査の結果に加え、陳情者をはじめとした地元住民の意向等も考慮した上で検討していくことを要望し、当局説明を了承することに決しました。

復興支援のため牧之原市へ義援金を贈呈

9月5日に発生した竜巻による災害からの復興支援のため、富士市議会から牧之原市へ32万円の義援金を贈呈しました。当日は、富士市議会の笠井浩議長から牧之原市議会の村田博英議長へ、義援金を直接手渡しています。

義援金は、災害復興にかかる牧之原市の施策に活用されます。



▲笠井議長から村田議長に義援金を贈呈する様子

予算決算委員会

(補正予算6件)

【委員長】小池智明 【副委員長】小池義治

【委員】委員長、副委員長を除く全議員

特集

9月定例会

常任委員会の審査等

一般質問一覧

特別委員会の中間報告等

議会広報委員のページ

特集

9月定例会

常任委員会の審査等

一般質問一覧

特別委員会の中間報告等

議会広報委員のページ

一般質問とは、市が執り行う行政事務全般について、議員が質問を行うもので、本定例会では22人の議員が登壇しました。ここでは発言順に質問項目のみを掲載していますので、詳細につきましては富士市ウェブサイトの本会議の議会中継(録画放送)や2月末頃に発行予定の会議録を御覧ください。会議録は富士市議会ウェブサイト、図書館で御覧いただけます。

えんどう 遠藤	もりまさ 盛正	1. 公共スポーツ施設の受益者負担の検討について 2. 富士川緑地の管理について
あらいえ 新家	だいすけ 大輔	1. バセドウ病の啓発・早期発見について
もちづき 望月	とおる 徹	1. 富士市からゆずりあい駐車場制度の拡充を一妊産婦の方などへの利便性向上を一 2. 終活支援事業の進捗状況と周知について
せき 閔	あけみ 明美	1. 東海地方随一のぜんそく支援体制の確立と子育て環境の充実に向けて
いとう 伊東	みか 美加	1. 東京デフリンピックへの対応について 2. 大規模災害への対策について
うえまつ 植松	みつのり 光徳	1. 富士市で安心して出産できる環境整備について
こいけ 小池	よしはる 義治	1. スポーツ行政が市民部と産業交流部にまたがっていることについて 2. 市有施設を活用した社会人向けリカレント教育環境の整備について 3. 市立図書館における時間制限のないフリーWi-Fiの整備について
いでの 井出	はるみ 晴美	1. 幼保小のかけ橋期の教育の充実について
さの 佐野	ちあき 智昭	1. 松枯れ被害の撲滅に向けて 2. 使えるまちづくり行動計画の策定に向けて
おぎた 荻田	たけひと 丈仁	1. 富士駅北口駅前公益施設でのキャリアカフェの取組について 2. 富士市東部の富士山ビューポイントエリアの整備と活用について
さとう 佐藤	きくの 菊乃	1. 「富士市へ戻り就職するこんなメリットが！」と若者と保護者へ周知するための手法について 2. 放課後等デイサービスをセルフプランで利用することについて
しもだ 下田	よしひで 良秀	1. 富士市立中央病院ががんゲノム医療連携病院を目指すことについて 2. 富士市立中央病院における院内開業医師制度の検討について 3. 小中学校におけるバリアフリートイレの拡充について
こいけ 小池	としあき 智明	1. 人手不足、公務員離れ、働き方改革等が進む中での建築系技術職員の確保・育成、業務推進体制の在り方について
ふじた 藤田	てつや 哲哉	1. 旧吉原林間学園跡地の利用及び近隣の排水対策について
おの 小野	やすまさ 泰正	1. 富士市の持続可能な観光と環境保全のための登山道等の整備について
すぎやま 杉山	さとし 諭	1. 富士市職員による業務中の交通事故への対応について
はぎの 萩野	もとゆき 基行	1. 保護者等からの学校への問合せを外部委託することについて
すずき 鈴木	こうじ 幸司	1. 富士市の空き家対策及び空家等管理活用支援法人について 2. 水害常襲地域における都市公園予定地について
ささがわ 笹川	あさこ 朝子	1. 本市の公共下水道事業におけるウォーターPPP導入の問題点について
いしかわ 石川	こうじ 浩司	1. 観光施設である富士川楽座の在り方と体験館どんぶらのリニューアルについて 2. 今後の松野・富士川地区の公共交通について
ふくなが 福永	むねと 意人	1. 富士市職員配置適正化計画について
いちかわ 市川	まみ 真未	1. 歩きたくなるまちづくりについて 2. 公共施設の再編と市民参画について

特別委員会の中間報告等

新病院建設特別委員会

8月5日、9月3日に新病院の建設についてを議題として開催しました。

●新病院の病床数を450床とすることについて
市医師会を含む審議会の反応は

問 今後の基本計画策定や総務省との起債協議に向けて、新病院の病床数を、現在の許可病床数520床から70床減の450床にすることですが、これは現在の入院患者数や病床利用率、今後の病院経営等を勘案した結果と理解しています。一方で、これまで市医師会から病床数削減に対する懸念が示されていますが、新病院建設基本構想等審議会ではどのような議論があったのですか。

答 これまで、市医師会に対して、現在の経営改善の取組や病床不足リスクへの対応策等を具体的に説明し、病床数削減への理解を求めてきました。それにより、9月1日に開催した審議会では特に反対意見はなく、新病院の病床数を450床にすることへの理解が得られたと考えています。

以上の質疑、答弁の後、当特別委員会としては、新病院の病床規模について、当局説明を了承することに決しました。

新たな特別委員会を
設置しました。



九州中央病院を視察する様子

九州中央病院(7月15日)

快適な有料個室の需要が高く、病床利用率は常に90%以上を維持しており、また、職員、患者ともICタグによる入退室管理など、セキュリティ対策が徹底されていました。また、個人への研究・研修費や業績に応じた決算賞与の支給などの制度や、医療機器の購入の際は費用対効果を厳しく評価するなど、健全経営に向けた取組がうかがえました。

長崎みなとメディカルセンター(7月16日)

PF方式により、1平米当たり25万円という低コストでの建設を実現しました。これは建設のタイミングや、職員の意識醸成、行政担当者が積極的に補助金獲得に動いたことなどの要因が挙げられます。一方で、人口減少やコロナ禍を経て、現在は病床数を減らして運用しており、柔軟な設計や医療需要予測に基づく病床数の検討が必須だと感じました。



(仮称)富士市の救急医療を守り抜く条例
検討特別委員会

(後列左より)

小池義治・佐野智昭・吉川隆之
(前列左より)

稻葉寿利・○望月昇・○杉山諭

◎委員長 ○副委員長

【設置理由】

市民が安心して救急医療を受けられる体制を安定したものにしていくためには、医療に関わる者の努力はもとより、市、市民、医療機関等が一体となって支えていくことが求められます。そこで、全ての市民が救急医療の意義を共有し、救急医療が健やかな生活の礎となることを願い、議員提案による政策条例として制定を予定している「(仮称)富士市の救急医療を守り抜く条例」について検討します。



地域に親しまれる 鈴川海浜スポーツ公園

(担当:川窪吉男、石川浩司)

鈴川海浜スポーツ公園は、北に靈峰富士、南に駿河湾の絶景を望む風光明媚な公園として、令和2年11月に完成しました。総面積2.8ヘクタールのうち1.7ヘクタールが芝生広場で、グラウンドゴルフやサッカーなどを楽しむことができます。公園の外周は全長1.3キロメートルの遊歩道となっており、ジョギングや散歩で幅広い年代の方々が利用しています。元旦には、初日の出を見るために非常に多くの人が集まる人気スポットです。35台分の駐車場、トイレ、5か所の休憩スペース（あずまや）と施設も充実しており、ゆっくりと過ごすこともできます。

周辺には、特徴的なすべり台等の遊具があり、地元の方々からは「貝殻公園」と呼ばれ親しまれている広場や、展望台がある富士と港の見える公園、富士山おすすめビュースポットの一つである富士塚もあり、元吉原地区の魅力を感じることができます。



▲貝殻公園のすべり台

台等の遊具があり、地元の方々からは「貝殻公園」と呼ばれ親しまれている広場や、展望台がある富士と港の見える公園、富士山おすすめビュースポットの一つである富士塚もあり、元吉原地区の魅力を感じることができます。

議会にひと言

今回は、自動車をはじめとするものづくりデザイナーとして活躍中のボブ・スリーヴァ (Bob Sliwa) さんにお聞きしました。(インタビュー:佐藤菊乃)



今年7月に東京都目黒区から富士市へ移住しました。富士市は中心街がなく、車社会なので、アメリカの郊外型の街に似ていると感じました。お気に入りの場所は、中央図書館と西図書館、そして、ジブリの世界のような大淵笹場です。

富士山を眺めながら、おいしいワインと日本中の料理を楽しめるレストランがあったら、世界中から観光客が来るのに！と思っています。

富士市では、様々な提案が出されても、次につながるケースが少ないと感じています。これまで有形のものを作ってきた歴史と文化があるので、これからは無形のものをいかに地域の文化にしていくかを考えたら、きっと唯一無二のすてきな街になると思います。

編集後記

9月定例会では、前年度に実施された事業の決算審査が中心となります。決算審査では、適切な予算執行が行われているか確認するだけでなく、「市民生活に役立ったか」、「無駄がなかったか」など、市民の視点から質疑を重ねて議論を尽くしました。

また、特集記事で取り上げた令和6年度議会事業評価でも、その妥当性を丁寧に検証し、事業内容や予算の方向性についての道筋を示しました。事業評価の結果は、議長から市長へ提出しました。今後も市民の皆様の御意見をしっかりと反映できるように取り組んでまいります。
(福永意人)



Vol.10

議会 Q&A

市長と議会はどういう関係？

(担当:萩野基行)

A. 市長と議会は、両者とも住民の投票(選挙)によって選ばれますが、それぞれ独立した対等な立場で、お互いにチェックし合い、権力の集中を防ぐことで、適切な市政運営を図っています。これを「二元代表制」といい、富士市だけでなく日本の全ての地方自治体でこの仕組みが取られています。

市長は、議案提出権、議会招集権、専決処分、再議権、議会解散権を持って市政を執行する責任を負っている一方で、議会は議決権、選挙・同意権、調査権、検査・監査請求権、意見書提出権、市政に対する質問権を持って、市長が提案する議案を審議・議決したり、市長の事務執行を監視・牽制する重要な役割を担い、車の両輪のような形で市政を執り行っています。

今月、富士市では、市長選挙と市議会議員補欠選挙が実施されます。ぜひ投票に行きましょう。

次回定例会予告

11月定例会は、11月18日から12月4日まで開催される予定です。

発行

富士市議会

編集

議会広報委員会

静岡県富士市永田町1丁目100番地

☎0545(55)2878(直通)

ウェブサイト

富士市議会

検索